

総合調査設計株式会社  
sogo tyosa sekkei inc. presents

## 大阪探検隊

Osaka City Expeditionary party

vol.005

# [司馬遼太郎記念館]

shiba ryotaro  
Memorial museum



総合調査設計では、大阪を中心としたまちの魅力を発見、発掘することを目的として「大阪探検隊」なる活動を行っています。

今回ご紹介する内容は、東大阪市下小坂にある司馬遼太郎記念館です。

### 司馬良太郎記念館（大阪府東大阪市下小坂3丁目11番18号）

玄関口には、司馬遼太郎（福田）の表札があります。

（なんか感動！）

門をくぐると、雑木林のような庭に入り、司馬氏の書斎が外から眺められます。



書斎の脇には、菜の花が植えられているなど、眺めを大切にしていることが伺えました。書斎を抜けると、記念館が見えます。これは安藤忠雄氏設計の建物ですが、入口までのゆるやかに曲がった通路は、歩きながら外の風景を眺めさせる、そんな工夫が感じられます。

写真上) 表札

写真左) 自邸。角にあたるところが、司馬氏の書斎となっている。



記念館の中では2月18日～5月18日の間、小学校6年生の教科書用に執筆した「21世紀に生きる君たちへ」という企画展が開催されています。その中で興味があった一文をまとめます。

(好評のため8月31日まで延長されたそうです)



●(司馬氏にとっての歴史とは)「それは大きな世界です。かつて存在した、何億という人生がそこにつめこまれている世界なのです」

●「自分に厳しく、相手にやさしく、すなおでかしこい自己を確立してほしい」とありました。

どちらの言葉も、人を大切にするという作者の人柄が伺えるとともに、今世界的な問題である戦争や地球規模での環境問題などにもあてたメッセージである、そう受け止められます。



また展示物の1つとして、司馬氏の著書や蔵書が壁一面に並べられておりましたが、その中で「家庭大辞典」を発見した時は、なにか身近な存在だなあと、感じられました。

記念館は、司馬氏の愛した街並みを含め存在している、そんな場所でした。



写真上) 安藤忠雄氏設計の司馬遼太郎記念館を、氏の書齋付近から見る

写真左上) 同記念館への通路

写真左) 外観